友枝文也校長

うち、三百九十三人がセン に本校三年生三百九十六人の

キャリア教育の充実に努めて 遠隔授業等を実施するなど、 るため、様々な講演会や研修 進路選択できる能力を育成す 生き方を考えさせ、主体的に できるよう、自己の在り方、

年が進行するに従い、高い進 くの生徒が夢を膨らませ、学

路目標を持つ生徒が増え、

ター受験をめざしています。

至員がこれまで培ってきた

である社会人講演会では、 います。その取り組みの一つ ますことに心から感謝申し上

大なご支援をいただいており れましては、本校に対する多 います。同窓会の皆様におか

ては追い込みの時期であり、 たこの一月は、受験生にとっ

三年生は正月返上で勉学に励

んでいるところです。ちなみ

会を実施しています。

これらのことを通して、

る方々や現役大学生との交流

後、

関東地区で活躍されてい

は、

大学や企業等を訪問した

明けましておめでとうござ

げます。

さて、センター入試を控え

将来有為な社会人として活躍 人一人が高い志と気概を持ち

ところで本校では、生徒一

だいています。

りたいと考えております。

また、二年生の東京研修で

験などについて、ご講演いた



第 48 号 筑紫丘高校同窓会 福岡市南区野間 2 - 13-1 〒815-0041 電 話092(561)0662 FAX092(561)0663

田中会長 資料館の年内落成願う

会員の皆様が、ご健勝にて

から、三つを当面の課題とし 任され、新たな気持ちで2期 衷心よりお慶び申し上げます と各学年・地域・職域総会の て取り組んできました。 目をスタートさせました。 新年を迎えられましたことを その第1が定期総会の充実 そこで山積する懸案・課題 昨年は執行部の全役員が再 ています。

田中義明会長 あり、解散することになりま きましたが、県当局の指導も 長が理事長に就任し、基本財 校の教育援助などに当たって 解散です。協会は歴代同窓会 (学校林)の維持管理、学

学校林は旧制の卒業生に

夢を膨らまそう

をもたらすことを期待してい

人以上の方々が、それぞれの 年六月の同窓会総会時に二十

専門分野のことや社会での体

力を存分に発揮し、よい結果

友枝校長 高い志と気概で

加人数、名簿登載数とも飛躍事役員の献身的な努力で、参 充実です。この件は各常任幹 連絡網を再整備することで、 充実していただければと思っ 的に増大しています。さらに 第2は財団法人筑高協会の 事業、学校の教育援助事業、 紫丘学園のPCB廃棄物処理 とは思いますが、先の理由か とっては思い入れの強い財産 の助成に充てることにしてい にしました。売却益は、旧筑 ら理事会として売却すること 在校生への教育支援金制度へ

とることになります。 学校教育活動への援助の形を 従って、今後の学校および 第3は、同窓会資料館

吉林之助会長が積極的に推進 これは創立70周年当時、有 の建設です。 仮

され、次いで8周年事業の中 化されていました。

各位の大変な尽力で、概略が 願っています。 可能な限り早い時期の落成を 出来上がっています。今年の 建築構造、展示内容など関係 を設立し、学校、県との折衝 です。並行して資料の整理、 長を委員長とする建設委員会 に当たり、内諾を得たところ そこで昨年、竹若幸二副会

うございます。

忘れて語り合いたいもので

たあの頃を、また集い、時を 事もがむしゃらに走り抜け

昨年の33回江濱義博実行

この1年の筑高健児の皆

した。精一杯努めさせてい 委員長から襷を引き継ぎま

を祈念し、元気な笑顔にお会 様のご多幸と、益々のご活躍

ただきます。

と一体となって運営が出来、 寄与できるものと確信してい 同窓会活動の活性化に大きく これが完成すれば、事務局

きます。今年のテーマは「我ルニューオータニ博多で開

奮え 筑高健児かな」 「千里の道に むちあてん ら同8時まで、福岡市のホテ

6月4日 (土) 午後5時半か

平成23年度の定期総会は

同わくわく、どきどきしつつ

いできますことを34回生一

心よりお待ち申し上げます。

成17年3月に福岡県西方

校舎は昭和40年から51年に 取り組んでいます。本校の の耐震補強工事に重点的に

建築された建物で、旧来の建

を震源地とする地震が発

阪神・淡路大震災に続き、

平成7年1月に発生し

守るため、校舎

子どもたちを ては地震から 委員会に 中、福岡県教育

おい

しました。これまで福岡県

築基準に基づいて建築され

では地震の発生が少なく、

運営に携わってこられまし

れ、耐震補強工事を行うこと

ることから耐震調査が行 ており、強度不足が懸念され

になりました。

謝申し上げると共に、益々の に対する日ごろのご協力に感 こ活躍を祈念申し上げます。 結びに、会員諸氏の会運営

海北穣会長によって予算 西日本新聞印刷

青春を再び語り合おう



友と語り合ったあの頃を、

に描いた夢を気の置けない

地震に備え校舎補強工事

キラキラと目を輝かせ、

定期総会へ向けて

郁夫(高34)

23年度総会実行委員長

外壁に補強用鉄骨

か設置された校舎

で

者や建物への

被害は、私たち

と多数のT 弱の強いだ 震い を表数のT

死摇度

れ

しさを改めて

のとなりま 認識させるも

た。

このような

援歌の一節です。筑高健児ら筑高健児かな」。母校の応 ました。 立たせたいとの願いを込め 本開拓」「日本創造」という に託された「日本守護」「日 先人の思いを今、ここで奮い

頭のご挨拶に代えさせていた すようお願い申し上げます。 これまで同様ご支援を賜りま 迷惑をおかけいたしますが、 益々のご発展と、会員皆様の 〕健勝、ご活躍を祈念し、年 筑紫丘高等学校同窓会の 堤さん

亡くなった元事務局長の飛永

同窓会を支えて16 年

飛永三事務局長が逝去

86 歳、

校生活にも良い影響をもたら 元事務局長(定中1回)が逝 平成22年9月15日、飛永堤

にキャリア教育を推進して参 後とも教育活動の充実ととも しています。従いまして、今 同窓会の皆様には何かとご 去されました。(享年86)。 会長として定時制部をまとめ 定時制部の幹事長、同窓会副 校第1回生として卒業の後、 間事務局長として、 度から平成10年度までの16年 てこられましたが、昭和58年 の前身である福岡県三宅中学 飛永元事務局長は、定時制 同窓会の

事務

が終了しました。

高校事務次長・坂本宗俊

過言ではないでしょう。 なってきた同窓会。その礎を 尊敬された名事務局長であり 作っていただいたと言っても 柄は、どの世代からも慕わ めてゆくのはなかなか困難 持管理をしていただきました。 ました。今日ますます元気 ことですが、温厚で誠実な 間の幅が大きい同窓会をまと 年間、参与としてご指導を 林も地元同窓生として永年 ただきました。 その後、平成11年度から7 また、那珂川町後野の学: 心からご冥福をお祈り致 いろいろな考え方や、世

するほか、校舎内部に頑丈な 外壁に補強用の鉄骨を設置 棟が工事対象となり、校舎の 22年度(7千7百万円)は2 平成21年度(1億7百) は本館、1棟及び3棟が

よって何とか耐震補強工事 授業は遠くの講義室で行う じました。工事箇所付近の や振動など、様々な問題が生 て工事が行われたため、騒音 礎を作るなど、授業と並行し たり、土間に補強用鉄骨の基 校舎の壁面をドリルで削っ 震補強工事が行われました。 耐震壁を設置するという耐 職員・生徒の協力に